

一 般 質 問 通 告 表

				ページ	
齊 藤 伸 一	・	・	・	1	(9月3日予定)
田 原 実	・	・	・	3	(")
伊 藤 文 博	・	・	・	6	(")
田 中 立 一	・	・	・	8	(")
保 坂 悟	・	・	・	11	(9月6日予定)
大 滝 豊	・	・	・	14	(")
甲 村 聰	・	・	・	16	(")
池 田 達 夫	・	・	・	18	(")
古 畑 浩 一	・	・	・	20	(9月7日予定)
古 川 昇	・	・	・	22	(")
渡 辺 重 雄	・	・	・	25	(")
新 保 峰 孝	・	・	・	28	(")
鈴 木 勢 子	・	・	・	30	(9月8日予定)
高 澤 公	・	・	・	32	(")
吉 岡 静 夫	・	・	・	33	(")

平成22年(9月)第5回市議会定例会

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>齊 藤 伸 一</p>	<p>1 地上デジタル放送について</p> <p>来年の7月24日までに、地上デジタル放送へ完全移行し、今までのアナログ放送が視聴できなくなります。地上デジタル放送を見るには、対応するテレビを購入するか、専用チューナーの取付けをしなければなりません。</p> <p>経済的支援や辺地共聴施設等の糸魚川市における地上デジタル放送完全移行に伴う対策を、以下の項目にて伺います。</p> <p>(1) 地デジ対応の進捗状況について</p> <p>糸魚川市における地デジ対応普及率は。</p> <p>地デジ放送の難視聴解消状況は。</p> <p>(2) 公共施設の対応について</p> <p>テレビの台数と地デジ対応状況は。</p> <p>地デジ対応テレビの購入か、チューナーでの対応か。</p> <p>地デジ対応の総予算はどれだけか。</p> <p>(3) 地上デジタル放送受信のための支援について</p> <p>総務省の地デジチューナー無償給付支援で、糸魚川市における対象となる世帯数及び周知状況は。</p> <p>地デジチューナー無償給付又はアンテナ工事の状況は。</p>	<p>市 長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>2 空き家対策について</p> <p>糸魚川市は、少子高齢化及び過疎化や核家族化が進展しており、空き家の増加が問題となっております。</p> <p>市として住宅用空き家の有効活用と定住促進や地域の活性化を図るため、ホームページ等で空き家情報を公開し、空き家問題の取り組みを行っておりますが、状況及び今後の推進に向けた考えを以下の項目にて伺います。</p> <p>(1) 空き家の現状は。</p> <p>(2) 空き家の防災・防火・防犯の対策は。</p> <p>(3) 糸魚川市空き家情報提供制度の状況は。</p> <p>(4) 所有者不明や権利放棄の空き家の数及び対応は。</p> <p>(5) 今後の空き家対応の推進は。</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
田 原 実	<p>1 ツーリズムを活用した地域振興と自然環境保護について</p> <p>糸魚川市の交流人口増大には新しい観光の形といわれるエコツーリズム、グリーンツーリズム、スポーツツーリズム、市長が進めるジオツーリズムの活用が考えられます。</p> <p>ただツーリズムによる経済発展や自然環境保護によるツーリズムの持続に関する研究、計画、実行は翠の交流都市を標榜する糸魚川市が取り組む地域振興策の重要課題と思われます。以下先進地の例も参考にしながら具体的に伺います。</p> <p>(1) 糸魚川市環境基本計画とエコツーリズムについて</p> <p>(2) エコツーリズムとジオツーリズム、自然資源を保護活用し地域振興に生かす2つのツーリズムの共通点と違いについて、糸魚川市ではどう整理されているか。</p> <p>(3) ジオを活用するエコツーリズム先進地、例として富士山周辺エコツアーなどのツアーの研究と糸魚川での活用方法について</p> <p>(4) 生物多様性と環境保護によるエコツーリズム先進地、例として兵庫県豊岡市のコウノトリツーリズムによる地域振興の研究と糸魚川での活用方法について</p> <p>(5) ジオツアーに対応する農業体験や農林水産加工品販売施設の設置について</p> <p>(6) 当市で取り組む登山・トレッキング・自転車競技・マラソンなどのスポーツツーリズムとジオツーリズムの連携について</p>	市 長 教育長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(7) 長野県、富山県、上越・妙高市と連携する広域 ツーリズム体制の推進について</p> <p>2 糸魚川ジオパークへの誘い(いざない)、案内情報 と交通アクセスの充実について</p> <p>糸魚川に来る以前にインターネットで交通アクセス やツアー内容を直接情報収集するツアー客、道中をよ り有意義に過ごしたいツアー客、糸魚川に着いてから 離れるまでより有意義に時間を使いたいツアー客のニ ーズとその対応策を私なりに想定し、以下具体的に伺 います。</p> <p>(1) ジオサイトへの案内情報と交通アクセスに精通 するジオパークコンシェルジェともいうべき人 材、ジオツアーマネージャーの育成について</p> <p>(2) ジオサイト最新情報、公共交通の乗り継ぎ状況 と所要時間、タクシー料金と所要時間、レンタカ ー料金と申込み、ガイド料金と申込み、宿泊案 内、食事案内とその申込みなどに 365 日 24 時間対 応するインターネット環境の設置について</p> <p>(3) 大都市と糸魚川の直通便、具体案として東京新 宿から山梨、八ヶ岳、松本、白馬、糸魚川を 5 時 間 30 分で結ぶ高速バス、仮称フォッサマグナエクス プレスの運行について</p> <p>(4) 新幹線駅、糸魚川新駅自由通路に求められる機 能、ジオパーク情報発信、ガイドとの待ち合わせ 空間、駅の高さを生かしたジオパーク展望台など の設置について</p>	<p>市 長 教育長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(5) 市内交通アクセスの利便性確保、特に糸魚川駅とフォッサマグナミュージアムを結ぶシャトルバスの運行について</p> <p>(6) 市内の道の駅やＪＲ各駅の近隣ジオサイト案内所としての役割強化について、特に駅そのものがジオサイトである筒石駅の活用について</p> <p>3 文化事業、教育・保育、遊びによるジオパークの市民理解の進め方について</p> <p>ジオパークを身近に感じ楽しむことが、糸魚川に住むことの豊かさと市民に理解され、市民の誇りとなることを期待し、その取り組みについて以下伺います。</p> <p>(1) ジオパーク音頭発表記念コンサート、日本ジオパーク糸魚川大会の成果と今後について</p> <p>(2) 市民が慣れ親しんでいる相馬御風作品、糸魚川小唄や校歌によるジオパークの理解について</p> <p>(3) 図書館等のジオパーク関連図書充実と、専用コーナー設置について</p> <p>(4) ジオサイトで元気に遊ぶことに特化した仮称「ジオっこクラブ」設立について</p> <p>(5) ホームページでのこども向けジオパークＱ＆Ａ、情報コーナー設置について</p> <p>(6) 世界ジオパークのまち糸魚川でひとみかがやく日本一の子どもを育てる取り組みについて</p> <p>(7) 糸魚川ジオパークへの誇りともてなしの心をもつ市民の育成について</p>	<p>市 長 教育長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>3 子ども一貫教育方針について</p> <p>4月にこども課が設置され、「0歳から18歳までの子ども一貫教育方針」も定まって「日本一の子どもをはぐくむ」がスタートしました。</p> <p>現時点での課題と今後の方向性について伺います。</p> <p>(1)「日本一の子どもをはぐくむ」とは。</p> <p>(2)一貫教育を行うためには教育現場の意識改革が必要になりますが、その進め方は。</p> <p>(3)地域社会、家庭との連携の進め方は。</p>	<p>教育長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>市内直売所の現状と課題 直売所への市の支援について</p> <p>3 北陸新幹線と並行在来線について 並行在来線を運営する第三セクターが設立されることとなりましたが、詳細な収支計画をはじめ、多くの部分が不明確なままでのスタートで、市民は不安を抱いています。</p> <p>三セク開業に向けては十分な調整や準備をして進めていかなければならないと思い、次の点について伺います。</p> <p>(1) 北陸新幹線と並行在来線について 運営主体の第三セクター会社の組織形態と事業内容について パブリックコメントの状況 経営委員会の経営計画（案）について示された各課題（運賃・新駅・車両・上下一体方式やデットセクションなど）の検討方法と糸魚川市の主張 鉄道とまちの共生ビジョン（案）の具体的取り組みについて JRの貸付料に対する新潟県の提案について市の考えは。</p> <p>(2) レンガ車庫の活用について</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>4 地域医療について</p> <p>(1) 緊急医療体制について</p> <p>姫川病院の突然の閉院で混乱した地域医療も、行政、関係医療機関及び医師が一体となり年ごとに整備が図られているところです。</p> <p>救急医療についても、基幹病院である糸魚川総合病院と開業医との連携により体制が維持されていますが、更なる充実が必要と思います。計画はいかがか伺います。</p> <p>(2) 能生国保診療所の経営改善策では皮膚科の新設、院外処方が計画されていますが、これまでの経緯と今後の予定を伺います。</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>派遣先・派遣人数・選考方法・自己負担の有無など事業内容の検討結果はどうか。</p> <p>(3) 補助金交付要綱について 「平成 23 年 3 月 31 日限り、その効力を失う」とあるが、この扱いはどうするのか。</p> <p>3 子どもの修学支援について</p> <p>(1) 日本学生支援機構をはじめとした各種奨学金貸付制度には、学力と家計の基準を満たしても、その年度の予算の範囲内で採用を行うため、採用されないことがある。採用されなかった学生に対して支援制度が必要と思うがどうか。</p> <p>(2) 奨学金に採用されても貸付額が十分でなく、経済的に厳しい学生がいる。そのような学生に支援制度を設けるべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 経済的理由で進学をあきらめることのないように修学支援の情報提供やアドバイスをする場を設けるべきと思うがどうか。</p> <p>4 教育環境について</p> <p>(1) 公民館等にある貸出備品の管理について</p> <p>(2) 糸魚川駅前と糸魚川高校間のバスの本数について 梅雨時や降雪期に期間限定で増発すべきと思うがどうか。 部活やテスト期間、学校行事に連動したバス運行をすべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 糸魚川ジオパーク地図絵本の出版と配布について</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>ふるさと教育の環境づくりとして幼児期からジオパークに触れる機会を増やす目的で実施すべきと思うがどうか。</p> <p>(4) 教育施設の暑さ(熱中症)対策について</p> <p>グラウンドの芝生化はどうか。</p> <p>緑のカーテンの推進はどうか。</p> <p>空調施設の整備はどうか。</p>	

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>用住宅建築等に対して助成して参ります。」と述べられています。</p> <p>日本国政府は低炭素社会づくりに向け、わが国の社会構造を「コンクリート社会から木の社会」へ転換しようと新たな施策を発表しました。</p> <p>当市において木材産業は、林業振興の観点からも大事な基幹産業であります。</p> <p>そこで、以下の点について行政の考えをお聞きいたします。</p> <p>(1) 森林振興の施策について</p> <p>(2) 地場産材の活用の現状について</p> <p>(3) 林業と地域の活性化施策について</p> <p>(4) 木質バイオマスの利活用について</p> <p>(5) 公共建築物等における木材の利用促進の取り組みについて</p>	

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(2) 糸魚川ジオパーク戦略プランについて伺います。</p> <p>戦略プランの位置づけ及びその活用方法について</p> <p>戦略プラン作成業務委託の進捗状況について</p> <p>(3) 外国人来訪者の現状とその対応及び課題について伺います。</p>	

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>「最終所見」(是正勧告)をどうみるか。</p> <p>「懸念が表明された」現状は、糸魚川市ではどうか。校内暴力、いじめ、自殺、不登校・登校拒否、「孤独」感の実態は。</p> <p>市は「子どもの権利条約」をどう生かしていくか。</p> <p>(2) 児童相談と児童虐待について</p> <p>児童虐待による子どもの死亡・傷害事件が相次いでいる。</p> <p>糸魚川市における現状と取り組みについて伺う。</p> <p>児童相談の種類と件数は。</p> <p>養護(虐待を含む。)相談、保健相談、心身障害相談、非行相談、育成相談、その他</p> <p>児童虐待の内容は。</p> <p>虐待相談件数の推移、経路別相談件数、虐待の内容別件数、主たる虐待者、虐待相談の年齢構成</p> <p>取り組みの現状と問題点は。</p>	

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>3 糸魚川駅構内に発生した土壌汚染について</p> <p>去る8月23日の議会運営委員会で報告された糸魚川駅構内・解体された赤レンガ車庫付近で検出された土壌汚染は、ヒ素が基準溶出量の2.1倍、鉛が2.7倍というもので環境問題を考える上でも重大な問題であります。</p> <p>原因者となったJR西日本の責任は大きく、糸魚川市としても市民の生命、財産を守る義務と安心・安全なまちづくりを推進する観点からも看過できない事件であると考えます。</p> <p>水源地や井戸、小学校なども隣接していることから、市民の不安を取り除き、問題解決に向けて速やかな処置を講ずるべきであり、行政としての対応を問うものであります。</p> <p>(1) 発生した土壌汚染の詳細な数値と市民生活に及ぼす影響について</p> <p>(2) なぜ土壌汚染に至ったか、その経緯について</p> <p>(3) 土壌汚染の土地は、市が駐車場用地として購入予定であるが、今後の対応は。</p> <p>(4) 発生からの経過と住民説明など対応の遅れについての責任問題について</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(1) 現在までの経過と現状について</p> <p>(2) 地元住民への説明により納得が得られたのかどうか。</p> <p>(3) 今後の計画推進について</p>	

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
渡 辺 重 雄	<p>1 自立と協働のまちづくりの推進について</p> <p>新市を発展に導く3つのプロジェクトの1つとして新市建設計画で「まちづくりプロジェクト」が掲げられ、その後、総合計画でも「住民自治機能を強化し、市民と行政が協働してまちづくりを進める」として、「自立と協働のまちづくり」が明記されています。</p> <p>実際に、「自立と協働のまちづくり」はあらゆるところで強調されているが、合併後5年経過する中で、描いた構想がキチッとした仕組みとして構築され、企画、計画として実践され、効果が発揮されているのだろうか。</p> <p>具体的な進め方については、情報の共有化と住民参画の体制整備をはかり、さらに「自立と協働のまちづくり」を見える形にするために、新しいルールやシステムにまで発展させなければ効果が期待できないと考えます。</p> <p>今年度、行政組織の中では、組織改編により地域担当者制などの新たな取り組みもあり、自立と協働のまちづくりの推進に大いに期待しているところです。</p> <p>以上の観点から主に次の3点について伺います。</p> <p>(1) 合併後の実践と成果について</p> <p>今まで、自立と協働の基礎づくりがどのように行われ、将来的にはどのような形態を考えて進められているのか、5年間の取り組みの内容と成果について伺います。</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(2) 地域づくりと地域担当者制について</p> <p>地域自治組織の現状とあり方、各地域における地域振興計画の整備状況と進め方、地域担当者制に関する要綱や規則の整備など、それぞれが見える形での取り組みが行われているのか伺います。</p> <p>(3) アダプトシステム(まちづくり里親制度)の導入提案について</p> <p>公共施設の清掃など、環境美化活動を地域住民、企業などに担ってもらうアダプトシステムは、「協働のまちづくり」の1つとして効果が期待できると考えており、ジオサイトなどでの導入を提案するが、可能性について伺います。</p> <p>2 総合計画の後期計画策定の基本的な考え方について</p> <p>総合計画の後期計画策定を間近に控え、すでに市民アンケートなどを実施するなど作業に入っているようですが、策定にあたっては、市民との協働による計画策定、さらに指標や目標の設定によるわかりやすい計画策定が求められていると考えます。</p> <p>現在の総合計画は、合併後初めての計画であることから、新市建設計画の履行を中心に進める必要があり、特に後期計画ではその成果や効果の確認も求められていると考えます。</p> <p>一方で、新たな視点や手法等への対応、従来の行政システムや事業手法等にとらわれることなく、これからのまちづくりにふさわしい先駆的な手法を積極的に取り入れ、公・民の役割分担の明確化を図りながら、民間のもつ資金やノウハウの活用も視野に入れた、市</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>が未来への希望を持てる計画づくりも必要と考えます。</p> <p>以上の観点から、総合計画の後期計画策定の基本的な考え方について、主に次の3点について伺います。</p> <p>(1) 前期計画の各種検証と中期プランの位置付けについて</p> <p>前期計画における新市建設計画、行政改革大綱をはじめ各種個別計画との整合性や成果など各種の検証について、さらに前期計画の途中に行政主導で策定された中期プランの位置付けについても伺います。</p> <p>(2) 後期計画策定の基本的な考え方と手法について</p> <p>新市建設計画の履行や新たな課題に対して、後期計画を策定する上でどのような手法が必要となっているか、策定にあたっての基本姿勢、策定体制、策定スケジュールなどについて伺います。</p> <p>(3) 各種指標と住民満足度について</p> <p>当市を取り巻く財政、経済、福祉、教育など各種の指標がありますが、5年間の動きからどのような指標を示し、課題となっているか、これらに関連し住民の満足度は向上しているのか伺います。</p>	

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(4) 今年 1、2 月には、どのような要望が多かったか。利用者の立場で改善をはかる必要があるのではないか。</p> <p>3 ごみ処理について</p> <p>(1) 糸魚川市一般廃棄物最終処分場の現状と今後について、どのように考えているか。</p> <p>(2) 糸魚川市産業廃棄物最終処分場の現状と今後について、どのように考えているか。</p> <p>(3) ごみ処理については、分別を進めて資源化し、埋立ごみも含めごみの総量を減らす考え方で取り組んでいく必要があるのではないか。</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>(3) ごみ減量対策に向けての取り組みはいかがか。</p> <p>3 米粉の普及と食料自給率アップについて 新潟県は「R10 プロジェクト」を進め、米粉の利用で食料自給率の向上に取り組んでいます。そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 市内の保・幼稚園、小中学校給食で米粉の利用拡大を進めてみてはどうか。</p> <p>(2) 「食育」と合わせた食料自給率アップに取り組んでみてはいかがか。</p> <p>4 「烏帽子の里」の火災と施設管理について 去る 8 月 20 日に発生した「烏帽子の里ふるさと館」の火災について、次の点について伺います。</p> <p>(1) その後、火災の原因が判明されたのか。また消火活動に問題はなかったのか。</p> <p>(2) これまでの施設管理に問題はなかったのか。また同施設は禁煙であったのか。</p> <p>(3) 今後の跡地利用への対応について、市の見解はいかがか。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
高 澤 公	<p>1 能生温泉センターの今後について</p> <p>能生温泉センターは、その廃止も含めて存続のあり方を研究しているようですが、地域住民にとっては毎日の憩いの場であり、地域コミュニケーションの場でもあります。</p> <p>市が方向転換をしようとするその根本の理念、考え方を伺います。</p> <p>2 コンサルタント利用について</p> <p>行政執行の上で新規の事業なり、あるいは専門的な分野では、教えを請い知識や技術を習得することは必要なことと理解しますが、糸魚川市ではあまりに安易にコンサルタントを利用しているような気がしてなりません。そこで伺います。</p> <p>(1) 平成 20 年、21 年、そして今年度のコンサルタント利用回数と費用</p> <p>(2) コンサルタントが出した回答とその応用、利用の成果</p> <p>(3) 行政職員は、日々の業務を間違いなくし遂げていくのはもちろんですが、市のため、市民のために、企画、立案、しっかりとした執行、それができる職員が望まれているわけです。それら職員を育てる、あるいは雇い入れる作業はどうなっているのか伺います。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
吉 岡 静 夫	<p>1 「パブリックコメント」「住民コンセンサス」</p> <p>近年多用の傾向があるこのことについては、「民が主人公」を実行実践しようとするもので、行政執行上の基本根幹として極めて大切な手法のひとつだと考えます。</p> <p>そこで、次のことを伺います。</p> <p>(1)「パブリックコメント」そのものをどのように行政執行上位置づけているか。法規上・執行体制上の具体的な位置づけ、扱いはどうか。</p> <p>(2)「パブリックコメント」の実践例・具体的な事例・件数・結果対応</p> <p>(3)「パブリックコメント」の長所、短所あるいは問題点などをどうとらえているか。</p> <p>(4)前2者とは性格・位置づけが若干異なるが、行政執行上採用されている「コンサルタント」の性格・位置づけ・対応例・問題点</p>	市 長
	<p>2 北陸新幹線がらみ並行在来線のこれからに関わる「パブリックコメント」</p> <p>このことについては、8月6日から9月6日までを応募期間としての「並行在来線経営計画(案)及び鉄道とまちの共生ビジョン(案)」についてご意見を募集いたします」という「パブリックコメント」が実施されました。</p> <p>そこで、次のことを伺います。</p> <p>(1)当計画の主旨・内容・対象など</p> <p>(2)作業内容・対応・現時点での結果</p> <p>(3)これらの結果を今後具体的にどう生かしているのか。</p>	市 長

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
	<p>5 「糸魚川医療生活協同組合姫川病院」 債権者対応については、いま一審に続いて二審裁判の審議が進められています。</p> <p>そこで、次のことを伺います。</p> <p>(1) 二審の動きはどうなっているか。また、このことに今後どう対応しようとしているか。</p> <p>(2) 閉院間近の市費 2,300 万円支出。その後(6月定例会以降)新しい展開はどうか。</p> <p>(3) 土地・建物・施設、さらには固定資産税など公租公課への対応はどうなっているか。今後どう対応しようと言われておられるか。</p>	市 長